

刈払機取扱作業に関する安全衛生教育受講報告

フィールド科学系部門 生物生産技術班 桧山昇子

1. はじめに（目的等）

広島大学附属農場（西条ステーション）内の土手や畜舎周辺には、春季後期から秋季前期にかけて野草が繁茂する。これらの整備は、家畜管理や学生実習を円滑かつ安全に行うために必須である。刈払機は短時間で多くの雑草を除去できる一方、適切に使用しなければ重大な怪我や事故に繋がる。そこで刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育に参加し、その取扱いについて学んだ。

2. 期間・場所

期間：令和6年6月9日（日）

場所：テクノ自動車学校 広島県安芸郡熊野町 5640-1

3. 参加者等

8名

4. 研修内容

1. 学科教育

- ・刈払機に関する知識
- ・刈払機を使用する作業に関する知識
- ・刈払機の点検及び整備に関する知識
- ・振動障害及びその予防に関する知識
- ・関係法令

2. 実技教育

- ・刈払機の作業等

5. まとめと感想

学科教育では刈払機の種類や扱う際の服装等注意点、整備の方法などの基礎的なこと、そして実際の事故の例や振動障害等扱う中で生じる危険性について学んだ。また、実技教育では刃の交換等一部の整備を行い、更に実際にエンジンをかけて草を刈った。

実際に操作を行い、草を刈っている最中に声をかけられても気づかず、周りにいる人の存在を感じにくいことを実感した。刈払機の扱いに伴う危険性を意識して自分だけでなく周囲にいる人にも怪我をさせることなく安全に刈払機を扱っていきたい。